

# h ニュースレター

Vol.9

事務局:TEL.095-820-4978 FAX.095-820-4377 ホームページ <http://www.nagasaki-vs.jp>



活水女子大学教授  
(センター理事)  
永田 耕司

## 新理事 就任あいさつ

田川療養所の臨床心理士の前田先生(センター理事)から理事就任の話があり、長崎被害者支援センターの理事を仰せつかった永田です。

私は現在、活水女子大学健康生活学部の教員をしています。それ以外でも、非常勤で長崎県庁・長崎市役所産業医・長崎新聞社メンタルヘルス専門医・九州電工産業医、長崎・佐世保子ども女性障害者センター非常勤精神科医、高校スクールカウンセラー・小中学校校医、クリニックや病院での心療内科での診療などを行っています。

このような状況の中で、今はとても引き受けられる状況にはないとお断りいたしました。「先生しかない」という、いつもの前田先生の口説き文句に流されて、結局依頼を引き受けることになりました。

怪我など身体の傷は目に見えてよくなっていきますが、心の傷は目に見えなくて、なかなか癒えるものでもありません。外傷体験(トラウマ)となって、何年もトラウマの再体験(フラッシュバック)、回避行動、過覚醒、不眠、抑うつと体調不良が続いていきます。その体調不良にカウンセリングや薬物療法だけでは対応が難しく、まわりや社会的支援も重要になっていきます。

被害者支援というのは、犯罪被害から、虐待による被害、DVによる被害、ハラスメント(一般的に、他の人に対して精神的苦痛を与えたり、物質的な損失を与えるなどの行為を指し、行為の内容や立場によってセクシュアルハラスメント、アカデミックハラスメント、パワーハラスメント、モラルハラスメントなどがある。)など、非常に多岐に渡っています。

このように、今はいろんな形で被害者が増えてきていますが、その被害者に対する社会的支援体制が未整備で、その支援体制の整備が望まれています。被害者支援の一つとして、このセンターが社会的に機能していくことが大切だと思います。そのためには、いろんな諸機関との連携や信頼関係づくりが必要と思っています。

これまで、中学・高校での生徒への講話などをさせていただきました。気軽にお引き受けいただきましたが、よくよく考えてみますと、非常に大変なことを引き受けてしまったかとも感じております。忙しい中、いろんな会への出席などが難しいこともあるかと思いますが、私のできる範囲でお手伝いできればと考えています。どうぞ、よろしくお願いたします。

電話  
相談



**(095)-820-4977**

毎週火～土曜日/10:00～16:00

秘密厳守  
相談料無料

面接相談: 電話相談の上、予約が必要となります。必要に応じて弁護士・臨床心理士の面接相談も行います。

# 平成19年度事業報告及び収支決算書

## 《平成19年度収支決算書》

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

□ 収入 (単位:千円)

勘定科目	決算額
会費収入	2,155
寄付金収入	2,625
補助金等	6,800
雑収入	14
前期繰越金	2,623
計	14,217

□ 支出

勘定科目	決算額
事業費	8,133
管理費	4,291
繰越金	1,793
計	14,217

## 《平成19年度事業報告書》

□ 会議、研修会等開催状況

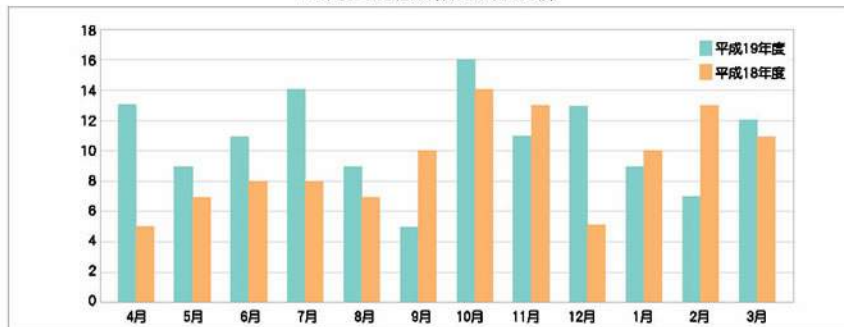
理事会	4回
運営委員会	12回
研修会	19回
講演等	8回
養成講座	24回
自助グループ開催	11回

□ 普及啓発活動等

地域別相談会(対馬市、大村市)	8回
街頭宣伝活動等	2回
公共交通機関等への広告掲載	11回
ニュースレター発行(8月、3月)	2回

## 平成19年度相談支援実績報告

19年度 電話相談件数(前年度比較)



月別相談・支援件数(19年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
電話相談	13	9	11	14	9	5	16	11	11	9	7	12	127
面接相談	3	1	0	3	3	3	2	5	0	1	1	3	25
直接支援	2	1	0	3	1	1	3	4	2	1	0	2	20
計	18	11	11	20	13	9	21	20	13	11	8	17	172

被害類型別相談・支援件数(19年度)

	殺人	強盗	銀行強盗	性的被害	DV	交通事故	財産被害	医療過誤	ス・カ・セ・リ	いじめ	その他	計
電話相談	1	2	10	13	10	18	13	3	2	2	53	127
面接相談	2		2	24	5	2	1		2	4	3	45
計	3	2	12	37	15	20	14	3	4	6	56	172

○電話相談: 3月までは週2回であったが、4月以降は火～土曜日の週5回開催したことにより前年より若干増加した。

○面接相談: 前年と同数であったが、法律相談12回、支援員の面接相談11回と、法律的要素を含む相談が多かった。

○直接支援: 前年より増加し、法律相談付添いが最も多く、裁判傍聴付添い・警察付添い・病院付添いなど、支援の多様化が窺えた。

## 平成20年 上半期活動報告

### 広報宣伝 活動

1月12日 **ながさき人権フェスティバル参加**

－パネル展示・犯罪被害者が語る人形劇のDVD放映・アンケート調査－



3月8日 **県警音楽隊定期演奏会**

－「置き去りにされた犯罪被害者」  
講演及びパネル展示会・募金活動－



3月21日 ホームページリニューアル  
及び携帯サイト立上げ



<http://www.nagasaki-va.jp/hoai/>



### 講演活動

2月27日 「命の大切さを学ぶ教室」  
－講話：石川県立小・松北高等学校－

3月27日 福岡少年院講話：「犯罪被害の実情と被害者  
支援に関する制度の現状や課題について」

5月21日 「命の大切さを学ぶ人権教育活動」第1回  
※新館は3回

5月28日 長崎県警察学校  
(被害者支援・警察安全相談専科)で講演

6月20日 佐世保学園講話：「被害者の心の傷、  
その回復過程、加害者に対する思い等」

3月14日 長崎東口ターリークラブ総会：  
「被害者支援の必要性」講話



### 研修 養成等

2月14～15日 全国被害者支援ネットワーク  
春期全国研修会参加2名

5月30日 通常総会及び講話  
「犯罪被害者の実情と支援に関する課題」



3月18日 人権にかかわる  
各種機関相談員研修会3名参加



6月21日 第7期 支援ボランティア  
養成講座終了

## 平成20年度 事業計画

### ○ 事業目標

今年度は、犯罪被害者等早期援助団体指定に向けての体制整備を最重要課題とし、各事業の活性化と、県内の学校巡回講演活動を新たに取り組みます。具体的内容は以下のとおりです。

- 相談業務としては、センター内に面接相談室、会議研修室が確保され充実。
- 広報活動の強化として、地域別相談会の継続と併せ被害者のおかれている現状などの講演会を開催します。
- 人権と心の教育の一環として、県内の中学校、高等学校を毎年36校程度を訪問して「心と命(子供を被害者・加害者にさせない)」の大切さの講演活動を行います。

### ○ 行事予定

①『地域別相談会』と『被害者のための講演会』を開催します(秘密厳守・相談無料)  
〈相談担当者〉:弁護士・臨床心理士・支援相談員など

場所・日時	佐世保市	8月5日(火) 13時00分～16時30分 アルカス佐世保 3階 大ホール	(講演会/13:00～14:00) (相談会/14:00～16:30)
場所・日時	五島市	10月17日(金) 13時00分～16時30分 五島市総合福祉センター	(講演会/13:00～14:00) (相談会/14:00～16:30)

事件や事故で心身を傷つけられた被害者及びそのご家族やご遺族の方、一般の方などを対象に、通常の電話相談ではなく、直接各地域を訪問して、被害者のための講演会と面接相談会を弁護士等が行います。

### ② 研修会等

- 被害者支援セミナー(長期就労可能な指導的立場の支援員育成を目的)
- 九州沖縄ブロック研修会(直接支援に携わる支援員の育成を目的)
- 全国被害者支援ネットワーク主催秋期研修会(電話相談支援員の育成を目的)
- 全国被害者支援ネットワーク主催研修会(直接的支援実施)
- 各種講演・講義 他
- 相談員継続研修(毎月開催)

### ③ 街頭宣伝活動等

開催日	場所	時間	内容
9月17日(水)	長崎駅前	12時～13時	県警音楽隊プロムナードコンサート会場でのパネル展示
10月15日(水)	チトセピアホール	13時30分～15時30分	地域安全・暴力追放運動「安全・安心まちづくり」長崎県大会 (パネル展示・広報グッズ配布等)
11月19日(水)	長崎駅前	午後	犯罪被害者支援キャンペーン 広報グッズ配布・パネル展示 (県警音楽隊プロムナードコンサート)
11月30日(日)	メルカつきまち5階	13時30分～	特別講演会(5頁にも掲載)
12月13日(土)	シーハット大村	10時～16時半	人権フェスティバル参加 (犯罪被害者が語る人形劇DVD放映・パネル展示・広報グッズ配布)

## 中学・高校生を対象とした巡回講演事業を開始

### ～「心と命の大切さ」を理解させる目的で～

本事業は、長崎県警察本部が講演事業補助金を予算措置したことを受けて、本年4月から、人権教育の一環として被害者が受けた様々な痛み、心と命の大切さを理解させるために、県内の各中学校・高等学校を訪問しながら講演活動を実施して行くものです。

#### ① 目的

犯罪被害者やその家族・遺族及び臨床心理士・弁護士・大学教授等による講話を通じて、生徒が命の大切さ・いじめ・暴力のない社会の必要性及び犯罪被害者の人権を学び、一人一人の人間を大切にすることを探求する学習の一環とすることを目的としています。

#### ② 推進重点

- (1) 被害者の実態を理解させる人権教育
- (2) 子供を被害者・加害者にさせない命の大切さの醸成
- (3) 被害者も加害者もない安全で安心なまちづくり



#### 反応/聴講した生徒さんは

- 命の尊さを見直すことができた。
- 命の大切さや人への思いやり、大切さを考えさせられた。
- 友達から相談を受けたら、真剣に相談に乗ってあげようと思った。との感想を述べていました。



#### ③ 推進状況

【講演のテーマ】

命の大切さを学ぶ人権教育活動

～子供たちを被害者にも加害者にもしないために～  
開催状況(8月末現在)/中学校・高校の実施:計12校

公立高校	公立中学校	私立高校	私立中学校
3校	6校	3校	—

その他 計3回

●大学校1校、●警察学校1回、●市教育委員会の研修会1回

#### ④ 今後の方針

12月の人権週間に向け、多数校から講演要請がっており、順次実施していく予定です。

#### 県民を対象とした特別講演会の開催予定

開催日	場所	時間	講師
11月30日(日)	メルカつきまちホール (所在地/長崎市長町3番18号 メルカつきまち5F)	13時30分～	東洋大学客員研究員 三浦 宏文さん (長崎西高卒・文学博士)

## 皆様からのご協力で心より感謝申し上げます。会員・寄付者芳名

会費及びご寄付を頂戴した方々で、芳名掲載をご了承いただいた方、団体のみを掲載いたしました。順不同。敬称略。  
平成20年2月1日～7月31日現在。

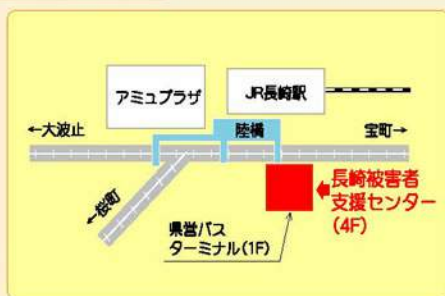
団 体				
[長崎市] 長崎船舶工事(株) 長崎運送(株) (社)長崎県歯科医師会 長崎市歯科医師会	長崎放送(株) タイハイ(株) 長崎ソフトウェア(株) 長崎ダイヤモンドスタップ(株) 長崎復興サービス(株)	三慶重工(株) [香南市] 香南市防犯協会連合会 [新上五島町] 五島ライオンスクラブ		
個 人				
[長崎市] 藤原 行雄 平石 美希子	[松浦市] 白石 一正	[西海市] 三浦 晋	[長与町] 小川 正幸 山口 裕子	[時津町] 田嶋 英夫
寄 付				
[長崎市] (社)日本損害保険協会長崎県保会 (財)長崎県警察職員互助会 長崎北東ロータリークラブ 長崎ロータリークラブ 長崎東ロータリークラブ 三益長崎機工(株) 横田医院 横田 実 光和興業(株) 県犯罪被害者支援室 本多 朗	古岡 敏広 [佐世保市] 種元 敏 [平戸市] (財)松浦史料博物館 内野 愛子 沢辺 真 [対馬市] 対馬南警察署 [五島市] 五島警察署	[鶴岡市] 豊山警察署員一同 豊山山本会 [南島原市] 南島原警察署 [江津町] 県北遊技場組合 [新上五島町] 新上五島警察署		
香典返し		正会員		
[諫早市] 織代文雄	[長崎市] 塩原 志郎 永田 耕司 瀬戸口 智彦	前田 和明 川原 志 松永 公福 日野出 俊子	[長与町] 山口 佳英 [五島市] 山本 美子	[東京都] 河井 耕治

### 事務所移転のお知らせ

平成20年8月10日に事務所を  
下記の場所に移転しました。  
住所:長崎市大黒町3番1号4階  
「長崎交通産業ビル」(長崎駅前)

JR長崎駅の目の前で、ビルの1階は県営バスターミナルと、交通の便がよく、事務室のほか、電話相談室、面接相談室、研修室があります。

(お願い:面接相談は相談員が不在の場合がありますので、電話相談の上、予約が必要となります。)



### 賛助会員募集

長崎被害者支援センターの活動を支えてくださる賛助会員を募集しています。  
私たちの活動は、賛助会員の会費や寄付金で成り立っています。ご賛同いただける新規会員の入会またはご寄付をお待ちしています。

賛助会員(年会費)

個人 10 年3,000円  
団体 10 年10,000円(何回でも結構です)

振込口座(郵便振替)

口座番号:01730-8-102986  
加入者名:長崎被害者支援センター



\*\*\*ご寄付は、金額にかかわらず随時受付けております\*\*\*  
(会報へのご芳名掲載を希望されない方は、送付欄にその旨記載をお願いします)

<http://www.nagasaki-vs.jp/kebai/>